

次に、第4の柱

『くらしや交流を支える都市基盤づくり』についてであります。

中心市街地の整備につきましては、令和3年度に「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業」の事業認可を受け、現在、建物移転及び工事を実施しています。引き続き、各関係者と調整を図り、事業を着実に進めてまいります。

大田市駅通り線につきましては、歩車共存道路として整備していくため、電線共同溝の工事などに着手するとともに、JR大田市駅前広場の整備を行ってまいります。

都市公園整備につきましては、「大田市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化している大田市民公園弓道場の改修工事などを実施してまいります。

また、令和12年に開催予定の「島根かみあり国スポ・全スポ」に向けて、夏場の熱中症予防対策を含めて、大田総合体育館の空調設備の設置工事等を進めてまいります。

公共下水道などの汚水処理施設の整備につきましては、良好な生活環境の形成及び河川・水路などの公共用水域の水質保全を図るため、引き続き、大田処理区内の大田地区及び久手地区において整備を進めてまいります。

空家対策につきましては、平成30年度に策定した「大田市空家等対策計画」が最終年度を迎えることから、今年度を実施した実態調査やアンケート結果をもと

に、空家の利活用の推進や管理不全空家等への対策を含めた次期計画の策定を進めてまいります。

山陰道につきましては、昨年3月に「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」が開通し、大田市以東が全国の高規格道路ネットワークと繋がりました。

残る「福光・浅利道路」の一日も早い開通と、山陰道の早期全線開通に向けて、引き続き、関係機関に強く要望してまいります。

道路整備につきましては、落石対策などの防災安全対策工事や、通学路の交通安全施設の改修などを重点的に実施してまいります。

また、「大田市橋梁等長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁等の改修・更新などを着実に進め、安全で快適な生活道路の確保に努めてまいります。

公共交通につきましては、国、県や沿線市町はもとより、交通事業者や地域とも連携し、市民生活に欠かせない「公共交通」の維持・確保に取り組んでまいります。

鉄道交通については、新年度より日常生活や広域での鉄道利用を促進し、路線の維持と地域活性化に向けた取り組みを進めるため、JR山陰本線益田―出雲市間の沿線自治体による利用促進協議会の設立に向けて関係機関と協議を進めてまいります。

消防・救急につきましては、全国各地で災害がこれまでにない規模で頻発化・激甚化している状況や、高齢化などにより増大する救急需要に迅速かつ的確に対応するため、計画的に消防車両や高規格救急自動車の更新、各種資機材の高度化、消

防水利の整備を推進し、強靱な消防・救急体制の確立に努めてまいります。

防災対策につきましては、大田市防災メールの機能追加やハザードマップの更新などを行い、防災減災意識の啓発や災害時における情報発信の充実を図ってまいります。

また、福祉部局や自主防災組織をはじめとする地域の各種団体と連携し、避難行動要支援者に対する個別避難計画の策定を継続的に推進してまいります。

治水対策につきましては、浸水・冠水対策のための排水路改修を行ってまいります。

併せて、豪雨による河川氾濫の抑止や河川環境維持のため、河川の堆積土砂等の撤去や支障となる樹木の伐採・除草を行ってまいります。